

疾病対策課

VI 疾病対策課の業務概要

健康危機管理事業（感染症部門）

県民の生活・健康を脅かす健康危機管理事業の発生予防及び拡大防止のために、地域の関係機関との連携を図り、健康危機管理体制の整備と拡充に努めている。

また、事業の発生に備え、当センター職員、管内消防部門等を対象に、新型インフルエンザやエボラ出血熱等感染症発生を想定した個人防護具の着脱訓練、N95 マスクのフィットテスト等の研修会を開催した。また、JCHO 船橋中央病院、船橋市と合同で新型インフルエンザ患者搬送訓練を開催した。

疾病対策事業

1 結核予防事業

平成 30 年末現在の新登録患者数は、65 人で前年より 12 人減少しており、肺結核のうち喀痰塗沫陽性患者は 23 人であった。

罹患率は 13.6（人口 10 万対）、有病率は 6.9（人口 10 万対）であった。

結核予防対策について、結核の現状より早期発見、早期治療を推進するため、管内の医療機関等を対象に研修会を行った。

結核患者の治療の完遂を促し、多剤耐性菌の発生予防及び結核のまん延を防止することを目的に、個別患者支援計画に基づき DOT S（直接服薬確認療法）を中心とする患者支援を行っている。

結核専門医療機関との連携会議について、DOT S 会議においては、患者情報の共有と、患者管理及び患者の療養支援の推進を図った。

所内では、DOT S カンファレンスを毎月開催し、患者支援の徹底を図り、また、コホート検討会においては、治療成績や支援対策の評価と検討を行った。

2 感染症予防事業

感染症発生時は速やかに患者及び接触者や施設等への疫学調査・指導を実施し、感染症のまん延予防を行うとともに、各関係機関と協力し感染源の究明に努めた。

平常時においても感染予防、拡大防止のための相談や指導等を行うとともに、高齢者施設や乳幼児施設等を対象に感染症予防のための研修会等を開催している。

3 エイズ対策事業

エイズ予防対策としては、関係職種や学校等を対象に講習会を開催するとともに、世界エイズデーに合わせて街頭エイズ予防キャンペーンを実施した。

エイズ相談（窓口・電話）では、相談とともに正しい知識の伝達に努めた。

HIV 抗体検査については、即日検査（月 2 回）及び夜間検査（隔月 1 回）を実施し、感染者の早期発見に努めている。また、HIV 検査と同時間帯に性感染症及び肝炎の検査を実施している。

4 原爆被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」等に基づき、被爆者手帳の交付、各種手当の支給及び被爆者の健康保持のための健康診断を年 2 回実施した。

1 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移

(単位：人)

年		平成 16年	平成 21年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年
区分	管内人口	442,430	456,223	469,779	472,449	474,015	477,226	479,234
	新登録患者数	90	87	67	75	82	77	65
	年末時登録者数	209	175	191	179	165	198	231
結核死亡者数	管内	3	7	7	6	4	3	2
	千葉県	30	55	55	68	71	89	82
結核死亡率 (人口10万対)	管内	0.7	1.5	1.5	1.3	0.8	0.6	0.4
	千葉県	0.7	1.6	1.6	1.3	1.3	1.4	1.5
罹患率 (人口10万対)	管内	20.3	14.3	14.3	15.9	17.3	16.1	13.6
	千葉県	20.7	13.8	13.8	13.7	14.2	12.1	12.0
有病率 (人口10万対)	管内	20.6	10.2	10.2	9.9	10.1	10.1	6.9
	千葉県	18.8	8.8	8.8	9.0	9.1	7.5	7.7

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

④罹患率：新登録活動性結核患者数×10万 /人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万 /人口

(2) 新登録患者数

表1-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	活 動 性 結 核				肺 活 外 動 結 核 性	(雇 人 口 10 患 万 対) 率	占 塗 肺 め 抹 結 る 割 陽 核 合 (性 の %) の ち	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症)	疑 似 症 患 者	の 結 死 死 亡 体 者	の 結 死 死 亡 疑 い 者 体		
			計	陽 喀 痰 塗 性 抹	結 核 の 他 陽 性 の	そ の 陰 菌 の 他 性								(別掲)	
平成30年		65	49	23	19	7	16	13.6	46.9	16	-	-	-		
習志野市		29	24	12	10	2	5	16.8	50.0	5	-	-	-		
八千代市		26	17	6	7	4	9	13.2	35.3	7	-	-	-		
鎌ヶ谷市		10	8	5	2	1	2	9.1	62.5	4	-	-	-		

(3) 年末時登録者数 (活動性分類別)

表1-(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	活 動 性 結 核						不 活 動 性 結 核	不 明	(有 人 口 10 病 万 対) 率	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症) (別 掲)		
			計	活 動 性 計	陽 喀 登 痰 録 塗 性 抹 時	結 核 登 の 録 他 陽 性 時	そ の 陰 菌 の 他 性 時	そ の 陰 菌 の 他 性 時				肺 活 外 動 結 核 性	治 療 中	観 察 中
平成30年		231	33	24	11	8	5	9	20	178	6.9	11	52	
習志野市		97	15	12	5	4	3	3	9	73	8.7	6	17	
八千代市		88	15	10	4	4	2	5	7	66	7.6	2	27	
鎌ヶ谷市		46	3	2	2	0	0	1	4	39	2.7	3	8	

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表1-(4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	歳 以 上
平成28年		82	-	2	9	8	5	7	6	20	20	5
平成29年		77	-	-	3	6	13	8	12	12	17	6
平成30年		65	1	3	8	3	8	7	9	12	11	3
習志野市		29	-	1	4	1	2	3	7	2	8	1
八千代市		26	1	1	4	1	5	2	1	8	3	-
鎌ヶ谷市		10	-	1	-	1	1	2	1	2	-	2

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表1-(5) 年末時登録者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	歳 以 上
平成28年		165	-	3	19	15	19	16	19	36	31	7
平成29年		198	-	-	20	21	27	20	25	35	40	10
平成30年		233	1	1	24	20	35	24	27	40	44	17
習志野市		97	-	-	11	7	10	12	18	9	20	10
八千代市		90	1	-	9	10	19	9	6	21	11	4
鎌ヶ谷市		46	-	1	4	3	6	3	3	10	13	3

(6) 患者面接実施状況

表1- (6) 患者面接実施状況

年		区分	人数(人)	DOTS 内容 (延件数)												
				登録時喀痰塗抹陽性						喀痰塗抹陰性			潜在性結核			
				入院時			退院後			訪問面接	所内面接	電話・その他	訪問面接	所内面接	電話・その他	
				訪問回数	左の内訳			訪問面接	所内面接							電話・その他
					初回	期間内	退院前									
平成 28 年	保健師	4	184	44	124	16	61	54	420	34	87	407	28	16	81	
	DOTS 支援員	2	-	-	-	-	34	4	123	9	2	213	-	8	127	
平成 29 年	保健師	4	132	29	97	6	125	59	422	51	139	348	13	33	130	
	DOTS 支援員	4	-	-	-	-	43	5	43	10	1	118	-	4	55	
平成 30 年	保健師	4	109	26	79	4	252	51	263	40	123	229	4	18	79	
	DOTS 支援員	3	0	0	0	0	20	0	25	0	0	72	0	0	26	
平成 30 年 患者数 (人)			23						42			16				

※平成 27 年度以降は年 (1 月 1 日~12 月 31 日) で集計

(7) DOT S 実施状況

表1- (7) DOT S 実施状況 (単位: 人)

年		区分	全 結 核 患 者			潜在性結核感染症
				肺結核患者 (再掲)		
					肺結核喀痰塗抹陽性患者 (再掲)	
平成 28 年	実施者数	73	53	20	19	
	患者数 ※	73	53	20	19	
平成 29 年	実施者数	66	54	27	32	
	患者数 ※	66	54	27	32	
平成 30 年	実施者数	68	45	23	15	
	患者数 ※	68	45	23	15	

※前年の新登録患者数 (転入者を含み, 治療開始 1 ヶ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

※平成 27 年 1 月 7 日付け健感発 0107 第 1 号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について (情報提供)」を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表 1 - (8) - ア 家族健診実施状況

区分 年	対象者 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 28 年	124	123	99.2	190	114	8	68	-	-	109	-	12	2	1.6
平成 29 年	58	57	98.3	82	60	2	20	-	-	50	2	5	0	0.0
平成 30 年	56	52	92.9	79	56	5	16	1	1	47	-	1	4	7.7
保 健 所	/			46	36	-	10	-	-	/				
委 託 分				33	20	5	6	1	1					
そ の 他				-	-	-	-	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

※平成 27 年度以降は年 (1 月 1 日～12 月 31 日) で集計

イ 接触者健診実施状況

表 1 - (8) - イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象者 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 28 年	485	484	99.8	718	566	8	142	1	1	458	-	22	4	0.83
平成 29 年	212	206	97.2	271	208	3	60	-	-	173	28	4	1	0.5
平成 30 年	255	243	95.3	319	252	6	61	-	-	232	5	5	1	0.4
保 健 所	/			156	131	-	25	-	-	/				
委 託 分				162	121	6	35	-	-					
そ の 他				1	-	-	1	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

※平成 27 年度以降は年 (1 月 1 日～12 月 31 日) で集計

(9) 管理健診実施状況

表1-(9) 管理健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	エックス線撮影	喀痰検査		結果(実人数)			
						塗抹	培養	観察不要	経過観察	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
平成28年	211	193	91.5	364	288	38	38	77	116	-	-
平成29年	210	187	89.0	341	277	32	32	89	96	2	1.1
平成30年	196	174	88.8	397	265	66	66	63	111	-	-
保健所				13	13	-	-				
委託分				363	231	66	66				
その他				21	21	-	-				

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(10)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位:件)

区分 年	総数			被用者保険						国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
				本人			家族			保険											
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
平成28年	168	165	3	47	46	1	24	24	-	35	35	-	51	50	1	9	8	1	2	2	-
平成29年	157	157	-	52	52	-	7	7	-	37	37	-	49	49	-	10	10	-	2	2	-
平成30年	137	137	-	44	44	-	14	14	-	33	33	-	36	36	-	10	10	-	-	-	-

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

表1-(10)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位:件)

区分 年	総数	被用者保険			国民健康保険	後期高齢者	生活保護法	その他
		本人	家族					
平成28年	36	10	1	2	17	5	1	
平成29年	32	6	-	7	13	5	1	
平成30年	26	6	2	7	8	3	-	

※本表は実人数で計上

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

区分 年	総数
平成28年	40
平成29年	33
平成30年	27

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位:件)

区分 年	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長通知数 (20条第4項)
平成28年	36	35	60
平成29年	33	33	60
平成30年	26	26	54

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

表1-(11)-ウ 入院措置数 (単位:件)

区分 年	入院措置数
平成28年	-
平成29年	-
平成30年	-

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(12) ツベルクリン反応検査・IGRA検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況 (単位: 件)

年	区分		ツ反検査数(延 件数)			発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm 未満	30mm 以上	未就学児	小学生	その他			
平成 28 年	-	16	15	-	1	16	-	-			
平成 29 年	-	5	5	-	-	5	-	-			
平成 30 年	-	11	2	9	-	11	-	-			

※平成 27 年度以降は年 (1 月 1 日～12 月 31 日) で集計

表1-(12)-イ IGRA検査実施状況 (単位: 件)

年	区分		IGRA 検査数 (延 件数)				結 果			
	保健所	委託分	陰性	判定 保留	陽性	判定不 可				
平成 28 年	534	146	601	31	48	-				
平成 29 年	212	56	228	18	21	1				
平成 30 年	167	141	276	13	18	1				

※平成 27 年度以降は年 (1 月 1 日～12 月 31 日) で集計

(13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況 (単位: 件)

年	区分		総 数		接 触 者		管 理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分		
平成 28 年	110	385	90	117	20	268		
平成 29 年	70	271	59	20	11	251		
平成 30 年	48	272	35	41	13	231		

※平成 27 年度以降は年 (1 月 1 日～12 月 31 日) で集計

(14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1-(14) 定期結核健康診断実施報告状況

(単位：人)

年 区分	項目	対象者数 ①	健診者数 ②	健診率 ②/① (%)	間接撮影件数	直接撮影件数	喀痰検査件数	発病のおそれ がある者の数	患者発見数 ③	患者発見率 ③/② (%)
	平成28年度		153,491	62,381	40.6	22,178	40,197	34	6	3
平成29年度		156,026	59,145	37.9	20,886	38,203	45	-	-	-
平成30年度		157,810	60,621	38.4	19,204	41,500	94	5	1	0.0016
内 設 長 記	学校長 (高校以上の生徒・学生)	16,850	16,169	96.0	12,678	3,508	-	-	-	-
	福祉施設入所者 (65歳以上)	1,703	1,703	100	353	1,349	1	-	-	-
	その他施設入所者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業者	19,373	18,449	95.2	6,173	12,348	93	5	1	0.0054
	市町村長	119,884	24,300	20.3	-	24,295	-	-	-	-

(15) 結核予防啓発活動実施状況

表1-(15) 結核予防啓発活動実施状況

実施日	場所	形態	テーマ	実施対象	参加人数 (人)
平成30年 7月6日	習志野 保健所	講演	結核研修会 「医療機関、高齢者施設等の 結核対策」	管内医療従事者	61

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2- (1) 1類感染症発生状況 (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
平成30年	-	-	-

(2) 2類感染症発生状況 (結核は除く)

表2- (2) 2類感染症発生状況 (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
平成30年	-	-	-

(3) 3類感染症発生状況

表2- (3) 3類感染症発生状況 (単位:人)

年・市町村	病類 総数	病類				
		コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌 感染症	腸チフス	パラチフス
平成28年	20	-	-	20	-	-
平成29年	19	-	-	19	-	-
平成30年	8	-	1	7	-	-
習志野市	2	-	-	2	-	-
八千代市	3	-	-	3	-	-
鎌ヶ谷市	1	-	1	-	-	-
その他 (管外)	2	-	-	2	-	-

(4) 4類感染症発生状況

表2-(4) 4類感染症病発生状況

(単位:人)

疾患名		平成28年	平成29年	平成30年
1	E型肝炎	1	-	-
2	ウエストナイル熱	-	-	-
3	A型肝炎	-	-	4
4	エキノコックス症	-	-	-
5	黄熱	-	-	-
6	オウム病	-	-	-
7	オムスク出血熱	-	-	-
8	回帰熱	-	-	-
9	キャサヌル森林病	-	-	-
10	Q熱	-	-	-
11	狂犬病	-	-	-
12	コクシジオイデス症	-	-	-
13	サル痘	-	-	-
14	ジカウイルス感染症	-	-	-
15	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフ レボウイルス属SFTSウイルスであ るものに限る。)	-	-	-
16	腎症候性出血熱	-	-	-
17	西部ウマ脳炎	-	-	-
18	ダニ媒介脳炎	-	-	-
19	炭疽	-	-	-
20	チングニア熱	-	-	-
21	つつが虫病	-	-	-
22	デング熱	-	2	-
23	東部ウマ脳炎	-	-	-
24	鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9)を除く)	-	-	-
25	ニパウイルス感染症	-	-	-
26	日本紅斑熱	-	-	-
27	日本脳炎	-	-	-
28	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
29	Bウイルス病	-	-	-
30	鼻疽	-	-	-
31	ブルセラ症	-	-	-
32	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
33	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
34	発しんチフス	-	-	-
35	ボツリヌス症	-	-	-
36	マラリア	-	-	-
37	野兎病	-	-	-
38	ライム病	-	-	-
39	リッサウイルス感染症	-	-	-
40	リフトバレー熱	-	-	-
41	類鼻疽	-	-	-
42	レジオネラ症	2	4	6
43	レプトスピラ症	-	-	-
44	ロッキー山紅斑熱	-	-	-

※14の疾患は平成28年2月より届出の対象となった。

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2- (5) -ア 5類感染症発生状況

(単位：人)

疾患名		平成28年	平成29年	平成30年
1	アメーバ赤痢	1	4	3
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	-	3	-
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	5	6
4	急性弛緩性麻痺(旧姓灰白髄炎を除く。)	-	-	1
5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	4	16	6
6	クリプトスポリジウム症	-	-	-
7	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	-	2
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	2
9	後天性免疫不全症候群	1	1	2
10	ジアルジア症	-	-	-
11	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	1	-
12	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
13	侵襲性肺炎球菌感染症	3	2	7
14	水痘(入院例に限る。)	-	-	1
15	先天性風しん症候群	-	-	-
16	梅毒	9	14	13
17	播種性クリプトコックス症	-	-	-
18	破傷風	1	-	-
19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	1
21	百日咳	-	-	17
22	風しん	-	2	40
23	麻しん	-	-	-
24	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

※ 4の疾患は平成30年5月より届出の対象となった。

※ 21の疾患は平成30年1月より届出の対象となった。

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2-(5)-イ-(ア)-a 患者定点医療機関数 (単位:箇所)

インフルエンザ	小児科	眼科	性感染症	基幹	疑似症
16	10	3	3	1	-

b 定点把握対象疾患

表2-(5)-イ-(ア)-b 定点把握対象疾患状況 (単位:人)

疾患名	平成28年	平成29年	平成30年
1 インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	6,200	6,280	6,831
2 RSウイルス感染症	342	279	270
3 咽頭結膜熱	190	392	280
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,338	1,231	1,201
5 感染性胃腸炎	2,710	1,982	1,884
6 水痘	278	220	212
7 手足口病	613	1,397	373
8 伝染性紅斑	239	21	337
9 突発性発しん	223	203	230
10 ヘルパンギーナ	957	724	662
11 流行性耳下腺炎	399	213	69
12 急性出血性結膜炎	-	2	1
13 流行性角結膜炎	209	262	203
14 性器クラミジア感染症	45	67	66
15 性器ヘルペスウイルス感染症	3	2	3
16 尖圭コンジローマ	3	1	1
17 淋菌感染症	23	10	18
18 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	-	-	-
19 クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-
20 細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	-	-	-
21 マイコプラズマ肺炎	1	-	-
22 無菌性髄膜炎	-	-	-
23 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	24	25	10
24 メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染	51	38	34
25 薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-

(イ) 病原体定点

表 2 - (5) - イ - (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数 (箇所)	2	2	1	1
検体提供数 (件)	8	34	-	-

(6) その他

表 2 - (6) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位：件)

年度 区分	届 出 施設数	届 出 患者数	措 置			
			学 級 閉鎖数	学 年 閉鎖数	休校数	その他
平成 28 年度	80	2,130	233	8	1	-
平成 29 年度	81	3,089	324	20	-	-
平成 30 年度	68	1,887	421	36	5	-
幼 稚 園	15	246	30	1	-	-
小 学 校	38	1,198	111	13	5	-
中 学 校	13	423	277	22	-	-
高 等 学 校	1	18	2	-	-	-
そ の 他	1	2	1	-	-	-

(7) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表 2 - (7) - ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年度	病類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 30 年度		-	-	-

イ 2類感染症

表 2 - (7) - イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況 (結核は除く)

年度	病類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 30 年度		-	-	-

ウ 3類感染症

表2-(7)-ウ 3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況
(単位：調査(人)，検便(件))

病類 年度	総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌 感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
平成28年度	22	143	-	-	-	-	22	143	-	-	-	-	17
平成29年度	54	81	-	-	-	-	54	81	-	-	-	-	24
平成30年度	20	20	-	-	3	4	17	16	-	-	-	-	-

エ 4類感染症

表2-(7)-エ 4類感染症健康調査状況 (単位：人)

区分	疾患名	調査
平成30年度	A型肝炎	4
	E型肝炎	2
	レジオネラ症	6

オ 5類感染症

表2-(7)-オ 5類感染症健康調査状況 (単位：人)

区分	疾患名	調査
平成30年度	麻疹(疑い含む)	52
	風疹(疑い含む)	143
	感染性胃腸炎(疑い含む)	204
	インフルエンザ	561
	水痘	64
	急性脳炎	6
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	6
	ウイルス肝炎	1
	アシネトバクター	1

(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表2－(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査(人))

区分 年度	総 数	管外での感染症 発生に伴う調査数 (検疫通報除く)	検便実施者数 (件)	検 出 菌				
				コ レ ラ	赤 痢	○ 157	そ の 他	
平成28年度	9	9	-	12	-	-	2	-
平成29年度	8	8	-	12	-	-	-	-
平成30年度	21	21	-	1	-	-	-	-

(9) 衛生研究所への確認検査依頼数

表2－(9) 衛生研究所への確認検査依頼数 (単位：件)

区 分	疾 患 名	結 果		計
		陽 性	陰 性	
平成30年度	腸管出血性大腸菌感染症	6	-	6
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-
	麻疹	-	20	20
	急性脳炎	4	1	5
	インフルエンザ	-	-	-
	蚊媒介感染症	-	-	-
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	-	-	6*1
	レジオネラ症	-	-	-
	A型肝炎	4	-	4
	細菌性赤痢	1	-	1
	日本紅斑熱	-	1	1
	風しん	48	29	77
急性弛緩性麻痺	1	-	1	

*1 MEPM感受性検査

(10) 就業制限通知数 (結核を除く)

表2 - (10) 就業制限通知数

(単位：件)

区分 年度	疾患名			計
	腸管出血性大腸 菌感染症	細菌性赤痢	腸チフス	
平成28年度	21	-	-	21
平成29年度	17	-	-	17
平成30年度	7	1	0	8

(11) 感染症予防啓発活動実施状況

表2 - (11) 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	実施対象	参加人数 (人)
平成30年 7月30日	習志野健康福 祉センター	管内教育機関・保育施設等 担当者感染症連絡会	管内3市 担当課職員	12
平成30年 10月13日	習志野健康福 祉センター	保育施設向け感染症研修会	管内保育施職員、 管内市職員	44
平成30年 11月6日	習志野健康福 祉センター	高齢者・障害者施設向け感 染症研修会	管内高齢者障害 者施設職員、管内 市職員	52
平成30年 11月17日	習志野健康福 祉センター	所内感染症防護服着脱訓練	保健所職員、国立 保健医療科学院 医師	22

(12) 感染症健康危機管理事業

表2-(12)-ア 地域健康危機管理推進会議開催状況

開催日	参加人数	主な内容
-	-	-

表2-(12)-イ 新型インフルエンザ等訓練、その他の会議

開催日	参加人数	主な内容
平成30年 5月10日 5月11日	36名 37名	健康危機管理感染症所内研修会 所内の職員及び管内市の関係職員、消防隊員を対象に防護服着脱訓練、N95マスクフィットテスト実施。
平成30年 9月25日	42名	新型インフルエンザ疑い患者移送訓練 習志野健康福祉センター及び船橋市保健所、船橋中央病院合同で患者移送訓練を実施。保健所から病院への移送、病院での引継ぎ、検体の受け渡し方法等を確認。

3 エイズ対策事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加人数 (人)
平成31年 2月3日	八千代市総合 生涯学習プラ ザ	資料展示 相談対応	思春期保健 シンポジウム	学校関係者、保護 者、医療関係者等	36
平成30年 9月27日	習志野健康 福祉センター 会議室	講習会	「今どきのこ どもたちに伝 えたい性感染 症」	学校教育委員会、 養護教諭、保健 師、医療従事者	19

イ HIV検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表3-(1)-イ HIV検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実 施 日	主 な 内 容
平成30年 11月28日	JR津田沼駅南北デッキ及び連絡通路、津田沼公園にて、薬物乱用防止啓発活動と合同で街頭キャンペーンを実施。エイズ・性感染症に関するリーフレット及びキャンペーングッズを配布し、知識の普及と予防啓発を行う。(1,000部配布)

(2) エイズ相談受付状況

表3-(2) エイズ相談受付状況

(単位：件)

年度	性別	相談方法	男	女	小計	合計
平成28年度		電話相談	15	4	19	254
		来所相談	155	80	235	
		その他	-	-	-	
平成29年度		電話相談	12	10	22	305
		来所相談	190	88	278	
		その他	5	-	5	
平成30年度		電話相談	10	5	15	298
		来所相談	178	105	283	
		その他	-	-	-	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3)-ア HIV検査受付状況

(単位：件)

年度	性別	男	女	合計	外国籍者数(再)	確認検査数
平成28年度		153	79	232	2	2
平成29年度		232	98	330	1	3
平成30年度		176	105	281	5	3
年齢階級	～19歳	1	3	4	-	-
	20歳～29歳	55	53	108	1	1
	30歳～39歳	52	29	81	3	1
	40歳～49歳	40	15	55	1	-
	50歳～59歳	22	2	24	-	-
	60歳～	6	3	9	-	1
	不明	-	-	-	-	-

表3-(3)-イ 性感染症・肝炎検査受付状況

(単位：件)

年 度	検査 性別	クラミジア検査			梅毒検査			肝炎検査					
		計	男	女	計	男	女	C型肝炎検査			B型肝炎検査		
								計	男	女	計	男	女
平成28年度		216	148	68	229	151	78	229	151	78	228	150	78
平成29年度		303	218	85	330	230	100	333	230	103	334	230	104
平成30年度		254	165	89	278	174	104	276	171	105	276	171	105

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施

4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

(1) 被爆者手帳交付状況

表4-(1) 被爆者手帳交付状況 (単位：件)

年度 市町村	区分	前年度末 手帳交付数	新規	転 入	転 出	死 亡	当該年度末 手帳交付数
平成28年		204(0)	-	1	1	13	191(0)
平成29年		191(0)	-	2	1	10	182(0)
平成30年		182(0)	1	5	1	11	176(0)
習志野市		63(0)	1	3	-	5	62(0)
八千代市		71(0)	-	1	1	4	67(0)
鎌ヶ谷市		48(0)	-	1	-	2	47(0)

(注) () は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表4-(2) 被爆者健康診断実施状況 (単位：人)

年度	施設		対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検査数
平成28年度	保健所	前期	210	25	11.9	11
		後期	204	16	7.8	0
	委託医療機関		-	58	-	27
平成29年度	保健所	前期	188	19	10.1	0
		後期	185	15	8.1	0
	委託医療機関		-	47	-	21
平成30年度	保健所	前期	182	16	8.8	4
		後期	175	10	5.7	5
	委託医療機関		-	42	-	16

(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況

表4-(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況 (単位：件)

区分 \ 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
総 数	169	160	158
医 療 特 別 手 当	6	4	5
特 別 手 当	2	3	2
原 子 爆 弾 小 頭 症 手 当	-	-	-
健 康 管 理 手 当	149	142	136
保 健 手 当	3	3	4
介 護 手 当	-	-	-
葬 祭 料	9	8	11
健 康 手 当	157	149	147

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。